

令和3年度第3回宮城県職業能力開発審議会議事録

日 時：令和4年1月12日（水曜日）午前10時から午前11時15分まで

場 所：宮城県行政庁舎4階 庁議室

出席委員：《オンライン》西内委員、佐竹委員、熊谷委員、後藤委員、吉野委員

《対 面》斎藤委員、田邊委員、小林委員、内藤特別委員

発言者	内容
佐藤総括	<p>本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから令和3年度第3回宮城県職業能力開発審議会を開催いたします。司会を務めます産業人材対策課の佐藤でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日の審議会も、会場とオンラインで同時進行いたしますハイブリッド方式で行うこととしております。なお、オンラインで出席されている委員におかれましては、ご発言の時以外は、マイクをミュートしていただきますようお願い申し上げます。本日の会議は、お手元の会議次第により進行させていただきたいと存じます。それでは開会にあたり、経済商工観光部の大庭副部長からご挨拶を申し上げます。</p>
大庭副部長	<p>皆様おはようございます。経済商工観光部副部長 大庭でございます。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえまして、本日も前回と同様に、オンラインと対面のハイブリッド方式により開催しております。</p> <p>本日はお忙しい中、宮城県職業能力開発審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様方には日頃から本県の職業能力開発行政につきまして、多大なご支援、ご協力をいただき、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。</p> <p>さて、第11次宮城県職業能力開発計画につきましては、昨年7月に当審議会に諮問させていただき、これまで計2回の会議においてご審議いただいたところでございます。</p> <p>本日の会議は、皆様からのご意見などを踏まえ、事務局において作成した計画の最終案についてご審議いただくこととしております。</p> <p>昨年11月に閣議決定された、国の新たな経済対策では、働き手がデジタルなどの新しい時代のスキルを身につけられるよう、人への投資を抜本的に強化するための予算を大胆に投入する施策パッケージを講じることとしております。</p> <p>また、村井知事も新型コロナウイルスや震災復興への対策とともに、今後の人口減少社会を見据え、将来への種まきをしっかり行くと述べておりまして、本県の産業を担う、産業人材の育成に向けて、職業訓練をはじめ、職業能力開発の果たす役割は、これからも大きいものと考えております。</p> <p>引き続き、委員の皆様から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はよろしくお願いいたします。</p>
佐藤総括	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご出席の委員のご紹介につきましては、資料1の出席者名簿で代えさせていただきますが、今回から新たに委員に就任いただいた方をご紹介させていただきます。</p> <p>労働者代表といたしまして、日本労働組合総連合会、宮城県連合会副会長、大泉享男様の後任といたしまして、日本労働組合総連合会、宮城県連合会副会長、西内弘昌様でございます。本日はオンラインでご出席いただいております。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお本日は、小野委員、谷垣委員、野口委員におかれましては、所用によりご欠席の連絡をいただいているところでございます。また、各高等技術専門校及び宮城障害者職業能力開発校の校長がオンラインで出席しております。</p>

	<p>続きまして、審議会の開催にあたりまして定足数の報告をいたします。職業能力開発審議会条例第5条第2項の規定により、審議会は委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとされております。特別委員を除いた委員総数11名のうち、本日の出席者は、会議室での出席者が3名、オンラインでの出席者が5名、計8名となっております。</p> <p>従いまして審議会条例第5条第2項の定足数を満たしており、会議は有効に成立していることをご報告いたします。なお、本審議会につきましては、情報公開条例第19条の規定により、会議は原則公開するものと規定されていること、また、議題に非公開情報が含まれておりませんことから、公開するものとして進めてまいります。</p> <p>事務局からのお願いでございますが、ご発言は記録の関係上挙手をいただき、係の者がマイクをお渡しいたしますので、マイクを通してご発言いただきますようお願い申し上げます。また、オンラインで出席されている委員の方は、ご発言時に、挙手等の合図をいただきまして、ミュートを解除してご発言をお願いいたします。それでは、これ以降の議事の進行は田邊会長をお願いいたします。田邊会長どうぞよろしくをお願いいたします。</p>
田邊会長	<p>それでは議事に入ります。2議事(1)第11次宮城県職業能力開発計画(案)について事務局から説明がございます。</p>
佐藤課長	<p>産業人材対策課の佐藤と申します。それでは私の方からご説明申し上げます。</p> <p>ご説明に当たりまして、計画の中間案をご審議いただきました前回の審議会をご欠席の委員、あるいは新しく就任いただいた委員もいらっしゃいますので、中間案の変更点の説明の前に、A3版の資料5「第11次宮城県職業能力開発計画案概要」によりまして、基本的方向性など、計画の主な部分をご説明させていただきます。</p> <p>それでは資料5をご覧ください。資料の真ん中になりますが、本計画における基本的方向性として、1県内産業の持続的な成長を支える産業人材の育成、2時代や環境変化に対応できる産業人材の育成、3県民一人ひとりが活躍できる職業能力開発の充実、4技能の継承と振興、この4つを掲げてございます。</p> <p>特に、国の第11次職業能力開発基本計画や、デジタル田園都市国家構想でも取り組みされておりますIT人材の育成につきましては、基本的方向性2として、デジタル化の進展や技術の急速な進歩、普及に対応できる専門性や創造性などを持つ産業人材の育成を図ることとしております。</p> <p>その中で、施策1の時代や環境変化に対応できる人材の育成では、社会のデジタルトランスフォーメーションの加速化を踏まえ、電子商取引など、企業の事業展開等で活躍できるIT人材の育成や、企業が求めるITスキルに対応した離職者等再就職訓練を実施するなど、デジタル化の進展に対応できる人材の育成に取り組みます。</p> <p>施策2の新たな技術革新等に対応できる人材の育成では、高等技術専門校において、ICTやIoT等に対応した訓練を行うため、職業訓練指導員のスキル向上を図るほか、企業の先進技術の動向等を把握し、新技術にも対応できる実践的な技術者の育成に取り組みます。</p> <p>また基本的方向性3では、少子高齢化の進展による生産年齢人口の減少や、職業人生の長期化等を踏まえ、多様な人材が活躍できるよう、職業能力開発と就職支援に取り組むこととしております。その中では、働き方の多様化により生じる求職求人双方のニーズをいたしまして、ジョブ型雇用など日本型雇用慣行も徐々に変化しつつある中で、関係機関による幅広い連携のもと、キャリアコンサルティングの活用などによりまして、一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな就職支援に取り組むこととしております。</p> <p>このほか、リスキリングやリカレントの機会提供による人材育成を図るため、産学官の人材育成機関による協議の場として設置している、みやぎ産業人材育成プラットフォームを通じた多様な人材育成施策の展開を支援するとともに、高等技術専門校における在職者訓練等により、その機会を提供する取り組みを推進することとしております。</p> <p>以上が、本計画案の基本的方向性と主な施策・取り組みとなりますが、これらにつきましては、宮城労働局、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、県職業能力開発協会、県教育委員会などの関係機関と適切な役割分担のもとで連携も図りながら、計画的に推進</p>

することとしております。

また、今回の計画から4つの基本的方向性ごとに指標項目を掲げ、計画最終年度である令和7年度の目標値を定めているほか、各施策の取り組み状況や事業実績等について、当審議会にご報告し、委員の皆様からご意見、ご提案をいただきながら、PDCAサイクルによる進捗管理を行っていきたいと考えております。計画案の主な内容についての説明は以上です。

次に、中間案からの変更点等につきまして、A4版資料2「第11次宮城県職業能力開発計画中間案のパブリックコメントについて」、A4版の資料3「提出意見等について」、A4版の資料4「第11次宮城県職業能力開発計画中間案からの主な変更内容」によりご説明をさせていただきます。

初めに資料2をご覧ください。昨年11月10日の第2回審議会でご審議いただいた、第11次宮城県職業能力開発計画中間案について、昨年11月22日から1か月間、ホームページ等を通じ、県民の皆様のご意見を募集しました。

この結果、1団体から1件のご意見をいただいております。

ご意見の要旨は意見等(要旨)に記載しておりますが、内容といたしましては、技能五輪を宮城県で開催することは、若手技能者がものづくりという仕事を続けるためのモチベーションになるだけではなく、この大会への出場を現実的な目標と考えることで技能向上を目指すことが期待できること。また、優れた技能競技を身近に見学することで、中学生や高校生、一般の人たちにとっても、ものづくりという仕事を知る良い機会になることから、技能五輪全国大会の開催を検討してほしいといった趣旨でございました。

そのご意見に対する県の考え方を右側にお示ししてございます。技能五輪全国大会は、次代を担う若手技能者の技能向上への意欲を高めるきっかけになるとともに、優れた技能を広く県民に見てもらうことで、ものづくりという仕事を身近に感じ、ものづくり産業への興味関心を促す上でも、意義ある大会と認識しているところでございます。

一方で、大会の開催に当たりましては、多岐にわたる競技職種の関係団体や会場となる市町村の協力が不可欠であるほか、多額の財政負担を求められるなど課題があると考えており、他県の開催状況や国の動向などを見極めていく必要があると考えております。

こうしたことから、ものづくり体験や企業・工場見学会の実施、動画・広報誌の作成・配布などにより、ものづくり産業や技能の魅力発信に取り組んでいくほか、高等技術専門校の職業訓練や高校等への熟練技能者の派遣、技能検定の受検勧奨、技能コンクールの開催等を通して、今後も、ものづくり人材の育成・確保の取り組みを進めることとしております。

次に、資料3「提出意見等について」をご覧ください。

計画の中間案について、当審議会の委員の皆様や、宮城県議会経済商工観光委員会でいただいた意見と県の考え方をご説明します。はじめに、審議会の委員の皆様からいただいたご意見ですが、一つ目は、宮城職業能力開発促進センター及び東北職業能力開発大学校における具体的な取り組みを、本計画に追記していただきたいとのご意見がございました。

このご意見に対する県の考え方でございますが、中間案におきましても、宮城職業能力開発促進センター等の取り組みについて記載はしてございましたが、委員からのご意見を踏まえまして、計画案に追記してございます。主な変更内容は資料4にまとめておりますので、後程ご説明いたします。二つ目は、女性も男性に近い体力と筋力を身につけられるよう、メディカルフィットやトレーニングのプログラムを就職支援・能力開発に入れていただきたい。

中高年齢者の能力開発にも当てはまり、長期的な就労能力はヘルスケアから成り立つものが多いと思われるのご意見がございました。このご意見については、就職にあたって、あらかじめ仕事の内容や求められるスキル等を十分理解する必要があると考えられることから、委員からのご意見を踏まえ、計画案を修正しております。またヘルスケアにつきましては、県の関係部局と情報共有するなど、連携を図ってまいります。変更内容は資料4で後程ご説明いたします。次に、宮城県議会経済商工観光委員会においていただいたご意見ですが、富県躍進をテーマにしている宮城県としては、時代や環境変化に対応できる産業人材の育成を重視していく必要がある中で、中小企業のデジタル化の状況に関して県の把握状況

についてのお尋ねがありました。

中間案では、デジタル技術の活用などについて、全国の状況を記載しておりましたが、その後さらに情報収集を行い、図表を追加しております。変更内容は後程説明いたします。

最後に、先ほど、計画案の概要のところでも取り組みについてご紹介しました、みやぎ産業人材育成プラットフォーム会議においていただいたご意見ですが、一つ目は、製造業以外の仕事につく流れに危機感を持っているということで、学校で学んだことと少し関係性が希薄な業種の仕事に就いてしまうといったケースがあるようでございます。

こういったことに対して児童生徒の発達段階に応じた、社会人との対話によるキャリア教育の取り組みが大切であるとのご意見をいただいております。

ご意見につきましては、小学生、中学生及び高校生を対象に実施している、社会人との対話によるキャリア教育を引き続き推進するほか、ものづくり産業の認知度向上や魅力発信に取り組むことにより、県内就職を促進し、産業人材の確保を図ることとしてございます。

二つ目は、地域ニーズを踏まえた公的職業訓練や新たな技術革新等に対応できる人材育成について、関係機関と連携し、この計画に対応した訓練を実施していくとのご意見をいただいております。このご意見については、本県の職業能力開発を取り巻く状況等を踏まえ、関係機関と適切な役割分担のもとで連携を図りながら、計画的に職業能力開発を推進したいと考えております。

次に、資料4「第1次職業能力開発計画中間案からの主な変更内容」をご覧ください。

本資料は資料3でご説明しましたご意見等を踏まえ、中間案から変更した主な内容についてまとめたものでございます。

一部、資料6の冊子を活用しながら説明させていただきます。変更内容の1については、資料3の中ほどに記載しておりました宮城県議会経済商工観光委員会におけるご意見を踏まえた変更内容でございます。資料6冊子16ページをご覧ください。こちらは第二部の職業能力開発を取り巻く状況のうち、4デジタル化の状況のページとなります。(3)といたしまして、東北圏の企業におけるデジタル化の状況、次の17ページには(4)として、仙台市の事業所のIT化及び社員のITリテラシーの状況について、それぞれ図表を追加したものでございます。16ページの上の図表4-5は東北圏、これは東北各県と新潟県のデータになりますが、こちらの企業におけるデジタル化の進捗状況になりまして、例えば「進んでいない」というところと「あまり進んでいない」を合計しますと、59.7%、約6割となっております。また、17ページの下の方の図表の4-8、これは仙台市内の事業所におけるIT化の状況になります。先ほどの図表と調査が異なりますので、選択肢が多少違ってはおりますが、こちらでも「どちらかというともIT化が進んでいない」と考えている。それから「IT化は全く進んでいないと考えている」を合計しますと、半数以上の53.7%となりまして、ほぼ同様な傾向が見られているというところでございます。

それでは資料4の方にお戻りいただきたいと思います。

資料4、変更内容の2から5及び7につきましては、資料3の上段の表1段目、基本的方向性2及び3の欄に記載しているご意見を踏まえた変更でございます。

例えば、変更内容の2については、「宮城職業能力開発促進センターにおいて、離職者訓練等により、第4次産業革命に対応できるものづくり分野のIT人材を育成します」のように、宮城職業能力開発促進センターや東北職業能力開発大学校で実施している訓練などについて、それぞれ変更内容欄に記載のとおり追記するものでございます。

次に、変更内容の6については、資料3の上段の表の2段目、基本的方向性3に記載しておりましたご意見を踏まえた変更内容でございます。

計画本文中に「マザーズハローワーク青葉、みやぎジョブカフェ、みやぎシゴトサポーターなどの関係機関等の連携のもと、ものづくり産業の魅力や仕事の実態についての理解促進を図りながら、キャリアコンサルティングの活用等により、女性一人ひとりの状況に応じた職業訓練等の情報提供や就職支援に取り組めます」と修正するものでございます。

第1次宮城県職業能力開発計画中間案からの主な変更点についてのご説明は以上となります。

田邊会長	<p>ただいまの説明をもとに、委員の方々に、ご意見、ご質問あるいは感想をいただければと思います。</p> <p>本計画は宮城県全体の計画、新・宮城の将来ビジョンと整合しておりまして、国の計画とも整合性のある形になっております。また、これまでの審議を踏まえ、いくつかの点について改正しております。</p> <p>ただ、まだこの点が不十分じゃないか、こうしたらいんじゃないかとかいうご意見があるかもしれませんので、ご意見一通り伺えればなと思います。</p> <p>恐縮ですが名簿の順番で、最初に西内委員からご意見を伺ってもよろしいでしょうか。</p>
西内委員	<p>はい、お疲れ様です。西内です。</p> <p>資料3のみやぎ産業人材育成プラットフォームのところを、今、説明いただきました。製造業以外の仕事につく流れに危機感を持っているというところですけども、なぜそういう状況になっているのかというところと、その授業カリキュラムと就職先が違うというところが分からなかったので教えていただければと思いました。</p> <p>よろしく願いいたします。以上でございます。</p>
田邊会長	<p>事務局の方からお願いします。</p>
佐藤課長	<p>このみやぎ産業人材育成プラットフォームですが、県内の各大学ですとか、それから産業界、商工会議所等の各機関に参加していただいております。</p> <p>このご意見につきましては、工業高校の校長先生からのご意見でございました。実際その工業高校で授業を行っている中で、いろいろな技術も含めて身につけられるということになろうかと思いますが、ただ残念ながらといたしますか、それに直結するような部分でない業種の職に就かれる生徒さんもらっしゃるということで、できればせっかく学校で学んだものを活かして欲しいといったような気持ちでのご発言だったと考えております。</p>
田邊会長	<p>いかがでしょうか。</p>
西内委員	<p>はい、わかりました。ありがとうございます。</p>
田邊会長	<p>これにつきましては、大学の方でもそれぞれ専門がありまして、学生が専門の道を学んでいます、必ずしもそれに合ったところに就職していないという実態もあります。ただ、それが本人の希望であれば否定する理由もないですけども、よく県内の企業を知らなかったために、専門と違う道に行くというのは大変良くない話ですので、この点について、基本的方向性1の中で、キャリア教育の推進やインターンシップの実施という形で書かれているかと思えます。</p> <p>次に、佐竹委員からお願いできますでしょうか。</p>
佐竹委員	<p>お疲れ様でございます。前回の2回目の審議会を欠席しました。大変申し訳ございませんでした。それで今日ですね、改めて計画の資料等すべて見させていただきました。</p> <p>これまで説明がありましたとおり、各方面からも好評という意味での意見をいただいているのかなというふうに思っておりますし、それで補強した内容での今日の最終案の提起ということでございまして、私としては理解できる内容なのかなというふうに考えております。</p> <p>ただ前々回もちよっとお話をさせていただいたかと思えますけども、やはり計画倒れにならないように、しっかりとこの5年間で推進に向けて各方面から、いろんなアイデアを出し合いながら実行していければいいのかなと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思います。私からは以上でございます。よろしく願いいたします。</p>
田邊会長	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>非常に大切なご指摘かなと思いますけれども、事務局側から何かございますか。</p>
渋谷総括	<p>はい。産業人材対策課の渋谷でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>今後の計画の進捗管理につきましては、概要の方の左側の計画の概要の4のところでも記載させていただいておりますが、より実効性を高めていくという意味で、今後の取り組み状況や事業実績につきましては、新たにこの計画で初の試みになります。指標項目、目標値を定め進捗管理していきたいと考えております。また、本審議会委員の皆様の実績状況についてご報告をさせていただき、PDCAサイクルによる進捗管理に努めてまいりたいと考えてございます。</p>
田邊会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
佐竹委員	<p>はい。</p>
田邊会長	<p>それでは次に、斎藤委員からお願いできますか。</p>
斎藤委員	<p>お疲れ様です。斎藤です。どうぞよろしく願いいたします。西内委員からもあったように、専門的な知識を学んできて、そこからこちらの道に就職してない人が多いというところで、実は私も隣の山形県の工業高校出身なんですけども、工業の道にいかず、JRに就職してしまった1人ですので、そういうルートにはまっていない1人なのかなと感じました。私の場合は、工場見学に行った時に、申し訳ないんですけど、その工場に対しての魅力を感じなかったところが一つの要因としてあります。やっぱりプロモーションによって、学生が企業の魅力の感じ方が変わっていくのかなと思います。ものづくりというのは、すごい魅力があるということはこの審議会を通じて感じているところもあります。様々なSNSで発信するのも、一つの手段なのかなというふうに感じるところもあります。</p> <p>また、デジタル化の方も、今このコロナ禍の中でどんどん進んでいく世の中になっていくと思います。実際、まだデジタル化が進んでいないと感じる企業が、まだ半数以上あるというところですので、どんどん力を入れていけば、このものづくりに対して意欲を持つ若い世代が増えていくかなというふうに思います。ぜひ、そちらの方も、もっともって力を入れていければなというふうに感じたところでございました。私の方からは以上です。</p>
田邊会長	<p>はい。ありがとうございます。よく企業について知っていただくとともに企業側もいろんな意味での魅力づけをしていく必要があるだろうということじゃないかと思いますが、事務局から何かございますか。</p>
渋谷総括	<p>はい。ものづくりの良さの魅力発信につきましては、これまで取り組んできました工場見学会や各種広報媒体を活用し、引き続き取り組んでまいりたいと考えてございます。</p> <p>工場見学会について今お話がありましたけれども、利用された先生、生徒あるいは工場の方からアンケートなど実際の生の意見を聞きながら、やり方についてもいろいろ工夫を講じながら対応していきたいと考えてございます。</p>
田邊会長	<p>はい。よろしいでしょうか。それでは次に熊谷委員からお願いできますでしょうか。</p>
熊谷委員	<p>お世話様です。今内容を聞いていて、デジタル技術の活用に関するOFF-JTが、企業に入ってからその仕組みを使うのがかなりハードルが高くて、時間のほか、例えばセミナーの申し込み、それにかかるお金が関わってきます。</p> <p>できるだけそういうところを技術専門学校でOFF-JTの基礎知識等を学べれば、技能の習得が早いのかなと思いました。</p> <p>あとは資料3、「提出意見等について」は、女性も男性に近い体力と筋肉を身につけられ</p>

田邊会長	<p>る基礎体力の課題に、もう少し注力していただければなと思いますが、引き続きよろしくお願いたします。ありがとうございます。以上です。</p> <p>はい。ありがとうございます。こちらについても貴重なご意見かと思いますが事務局から何かございますか。</p>
渋谷総括	<p>はい。二つご意見があったかと思います。一つ目のOFF-JTにつきましては、これまでも、審議会委員の皆様以外の方からも、中小企業につきましては人材育成については、なかなか大変だご意見をいただいているところでございます。</p> <p>高等技術専門校におきましては、今回の計画の中でも、在職者訓練に取り組んでいくという記載がございますので、そうした取り組みをさらに、継続していきながら、企業様のニーズに添えていくような、そういった職業訓練につなげていきたいと考えてございます。</p> <p>二つ目の女性の基礎体力の向上につきましても、貴重なご意見ありがとうございます。これにつきましては、資料3の方にも記載させていただいておりますが、県の保健福祉部などの関係機関とも連携をしながら、健康増進といった事業などもありますので、そういったところと連携などをさせていただきながら、今回いただいたご意見につきましても、情報の共有などに努めていければと考えてございます。よろしくお願いたします。</p>
田邊会長	<p>はい。ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
熊谷委員	<p>はい。ありがとうございます。</p>
田邊会長	<p>はい。それでは次に後藤委員からお願いできますか。</p>
後藤委員	<p>資料2、パブリックコメントについてお伺いたします。</p> <p>技能五輪について、工業会から出ているものと思いますが、私もものづくりの一員として、技能五輪の全国大会をぜひ宮城で開催してほしいと願っている1人でもあります。県の考え方の大筋はそれでよいかと思います。意義ある大会とは認識しているが、多額の財政負担がネックであるとしておりますが、これまで開催されました他県の収支を含めて状況を把握したということがあるのかどうか。それから、これから一から始めるということでしょうか。この近県では隣の山形県が、平成28年に技能五輪とアビリンピックの両方を実施しておりますので、参考になるのではないかと思います。ちなみに、宮城県の場合は、平成16年に、技能五輪とアビリンピック開催の機会がありましたが、私の記憶ではその時も財政がネックになったと思いますが、宮城県はアビリンピックだけ、技能五輪は岩手で開催ということでした。</p> <p>今回、第11次宮城県職業能力開発計画（案）の概要の柱が、「富県躍進！時代と地域が求める産業人材の育成」とありますので、今こそ開催に向けて、積極的に取り組んでいただければと思います。</p> <p>またもう一つ資料5の基本的方向性の施策でございますが、これに対しまして技能コンクールやものづくりマイスターによる技術・技能の継承などをうたっておりますが、本県ではどのくらいの職種でこのコンクールなるものを開催しているのか把握はできているのかどうか。ちなみに私ども溶接職種に関しては、高等学校と協議しながら、コロナ禍の密を防ぐ対策をとりながら、今月15日、もうすぐ目の前ですけど、ポリテクセンターを会場に、第11回宮城県高校生溶接競技大会を開催いたします。県内の高校13校、36名の選手が出場いたします。ぜひ時間がある方は、選手を鼓舞する意味においても見学していただきたいと思っております。この高校生の競技する姿を見ておりますと、日本のものづくり、まだまだ捨てたもんじゃなくなっている思いを強くいたしますので、どうぞ見学できる方は、PRになりますけど、見学していただきたいと思っております。私からは以上でございます。</p>
田邊会長	<p>はい。ありがとうございます。2点のご指摘があったかと思っておりますけれども、特に後者に</p>

<p>渋谷総括</p>	<p>については、非常に実体験の感じられるご意見だったのかなと思います。 これは事務局の方からいかがでしょうか。</p> <p>はい。二つのご意見をいただいたと思いますが、一つ目の技能五輪全国大会の状況でございますが、他県の開催状況というお話があったかと思えます。こちらにつきましては、いろいろ調査をさせていただいております、後藤委員からもお話がありましたが、平成28年に山形県で大会が開催されてございます。その際は、41職種で大体1,300人ぐらいが参加されまして、3市1町14会場で開催されたことと承知しております。開催経費につきましても、機器購入費を除き、約7億5,000万円ほどと聞いてございます。このほか、最近では沖縄でも平成30年に開催しております、その時も約1,300人ぐらいが参加されまして、6市14会場で開催されたということです。予算的には、大体10億円ぐらいの経費がかかっているというところでございます。</p> <p>技能五輪につきましては、大変意義ある大会と資料にも書いているんですけども、関係団体が42の職種に及ぶということで、ものづくり以外にも及んでいます。そうした各業界の皆様からのご理解ご協力や市町村の会場を使わせてもらうとか、そういった多方面での協力が必要でございます。</p> <p>今後も国の開催状況なども、もう少し見極めてまいりたいと考えております。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>はい。わかりました。</p>
<p>渋谷総括</p>	<p>それから技能コンクールについてでございます。</p> <p>技能コンクールにつきましては、代表的なものは、昨年も県内高等技術専門校で行われております、「宮城学生自動車整備技能コンクール」、美容師のコンクール、ロボットコンテストなどいろいろな競技大会が県内で開催されていると承知しているところでございます。</p>
<p>田邊委員</p>	<p>はい。ありがとうございます。後藤委員いかがでしょうか。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>はい。今後ともご協力のほど、ひとつよろしく願いいたします。</p>
<p>田邊委員</p>	<p>場合によりましたら、技能五輪について、何らかの形で軽く触れておくといえますか、関係団体の了解や予算措置など様々な問題がありますので、コミットするのはなかなか難しいという事務局の説明もそのとおりにかなと思うんですけども。</p>
<p>佐藤課長</p>	<p>技能五輪全国大会につきましては、私も今年、視察をさせていただきました。現場へ行きますと非常に熱心に、選手の皆さんは本当に一生懸命、中にはその企業挙げて、応援しているといますか、非常に素晴らしい大会だなという印象を持ってございます。</p> <p>先ほど財政的な面とか、競技団体の面というお話を申し上げましたけれども、開催側の面に立ったときに、やはり新型コロナウイルス対策という部分も大分気を使っているなあという印象を持ちました。</p> <p>従前だと、おそらく会場もそれほど広くなくてもできる競技種目もあるのかなと思ったんですけども、非常に広いスペースで、通路も非常に広くてですね、その会場の準備というのはやはり従前とコロナ禍では違うのかなと思ったところでございます。</p> <p>今会長からもお話がありましたが、技能五輪につきましては、例えば県の高等技術専門校で、技術指導を行ってございますので、そういった部分につきまして少し会長とご相談しながら、加筆していきたいと考えてございます。以上でございます。</p>
<p>田邊会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。後藤委員、そんな形でよろしいでしょうか。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>はい。わかりました。よろしく願いいたします。</p>

田邊会長	はい。それでは次に、吉野委員からお願いします。
吉野委員	はい。ポリテクセンターの吉野です。私の方からは、今回計画に、私どもポリテクセンターと東北能開大の事業につきまして盛り込んでいただきました。先ほど、他の委員からお話がありましたが、これを盛り込んだ以上は、しっかりとものづくり産業の人材の育成のために5年間取り組んでまいりたいなと思っているところでございます。私どもが行っている事業は、国の第11次計画に入っておりますので、それを県の計画に盛り込めたんじゃないかなと思っています。また、先ほど後藤委員の方からお話がありましたが、私どもの施設設備も今回名取から移転しまして、設備の方がかなり充実しております。ぜひ今後皆様に活用していただいて、ものづくり産業の人材育成にお役に立てればと思います。どうぞよろしく願いいたします。私からは以上です。
田邊会長	はい。ありがとうございます。前回から重要なお指摘をいただきまして、国の計画との整合性も踏まえていただきまして、ありがとうございます。 それでは次に、小林委員ですね、お願いできますでしょうか。
小林委員	出来れば高校に時間を割いていただいて、高等技術専門校の色々な学科を見て回っていただきたい。高等技術専門校で色々な勉強していることを実際に肌で感じてもらうようにすれば、もう少し生徒の数も増えるのかなと個人的にはそう思います。
田邊会長	はい。ありがとうございます。これについて事務局から何かありますか。
渋谷総括	高等技術専門校、宮城障害者職業能力開発校におきましては、現在皆様に知ってもらう機会としてオープンキャンパスを実施してございます。そこで、高校生に実際体験などを通じて、ものづくりの良さを知っていただく機会を用意しております。また、今若い人たちが利用しているSNSの活用により高等技術専門校の魅力について情報を発信するなど、PR活動に引き続き積極的に取り組んでいきたいと思っております。以上でございます。
田邊会長	はい。よろしいでしょうか。
小林委員	はい。
田邊会長	それでは次に内藤委員の方からいかがですか。
内藤委員	内藤でございます。11次の計画案について、いろいろご説明を受けて、よくまとまったなと感じました。1点お話をさせていただきたいと思っております。資料5にございますけれども、項目2で、時代や環境の変化に対応できる産業人材の育成ということですが、その中で具体的な取り組みの記載がされております。 それで国の方もDX、IT人材の取り組みを強化するというところで、いろいろ事業を進めている最中ですが、IT人材といっても、その定義がまだ定かではございませんので、人それぞれ受けとめ方が微妙に違っているなあと感じております。やっぱり教える側の確保が非常に現状としては難しい面がございます。先ほど資料等にもありましたけど企業で6割程度しか進んでないということでございますので、教える側の確保、資質を高めることなどについて、お示しいただければありがたい。
田邊会長	はい。ありがとうございます。事務局の方からお願いします。
渋谷総括	IT人材と言いましても、いろいろ範囲が広いと捉えております。こうしたことから、例えば、離職者等再就職訓練におきましても、業界の皆様からのご意見等をいただきながらコース設定に努めていく必要があると考えているんですが、その離職者訓練におきましても、

佐藤課長	<p>初級コース、中級コース、上級コースと、それぞれのレベルを意識しながら、求人側のニーズと、採用される企業側のニーズのバランスと申しますか、そういう状況も把握しながらですね、よりよい訓練につなげていければと考えてございます。</p> <p>追加でございますが、特にデジタル人材とかIT人材は、いろんな定義とございますか、レベル感があるのかなと思っています。我々が実施している訓練につきましても、エクセルとかワードの操作ができるようになる訓練に始まり、それがエキスパート的なレベルの訓練、あるいはプログラミング言語の勉強ができる訓練ですとか、資料5の方でご紹介したけども、電子商取引いわゆるeコマースといったコースでしたり、我々もどういった人材育成なり、どういった訓練が必要かということを探し始めているといったところでございます。あと教える側の体制ということもございましたので、我々も先ほどご紹介した離職者訓練につきましては、民間の教育機関の方に委託して実施しているわけでございますけれども、その中で、講師の手配が難しいといった意見もございますので、そういう意味では、教える側の部分につきましても少し取り組みを進めていければと考えているところでございます。以上でございます。</p>
田邊会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>計画期間が5年間ということですので、この中でやるべきことはかなり網羅的に出されているんじゃないかなと思いますけれども、少し早めに取り組んでいくべきことと、あと、少し時間をかけてじっくりとやっていくべきことがあると思いますので、そういったことも勘案しながらですね、進めていただくとうろしいのかなと、改めて今ご指摘受けて思いました。今のことでよろしいでしょうか。</p>
内藤委員	<p>はい。</p>
田邊会長	<p>一通り皆さんからご意見を伺いましたけれども、その他何かご意見ございますでしょうか。</p> <p>それではですね、この件につきましては皆様から貴重なご意見をいただきまして本当にありがとうございます。</p> <p>この中で、後藤委員から頂戴しましたご意見につきましては、この後事務局と調整しますが、修正内容と、そのあとの答申については、会長に一任していただくということでよろしいでしょうか。</p>
後藤委員	<p>はい。結構です。</p>
田邊会長	<p>それではそのように進めさせていただきます。</p> <p>それでは次に、議題の(2)その他ですけれども、皆様から何かありますか。後藤委員お願いします。</p>
後藤委員	<p>宮城県の人材育成への支援として、みやぎクラフトマン21や厚生労働省認定のマイスター制度に基づいた、熟練技能者の派遣事業がありますけど、これに関して、機能しているかどうか、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。</p>
田邊会長	<p>はい。事務局の方からよろしいですか。</p>
佐藤課長	<p>はい。この事業につきましては、この計画にも基本的方向性4ということで、技能の継承と振興に掲載するところでございます。主に、ものづくりの部分で、旋盤ですとか、そういったものが中心になってるかと思います。</p> <p>私も先日、県立工業高校の方にお邪魔しまして、現代の名工が指導している風景を拝見したところでございますけれども、その生徒さんも、学校の先生とは違う指導とございますか、</p>

<p>渋谷総括</p>	<p>本当に最先端、或いは、最高レベルのですね、指導を受けられるということで素晴らしい機会になってると思いましたが、県立の工業高校の校長先生も、非常にありがたい機会だということで、そこで工業高校で行ってるいろんな職種の方が見られている状況でございました。</p>
<p>田邊会長</p>	<p>クラフトマン21事業の実績でございますが、令和2年度ですと工業系高校13校70プログラム、延べ3,180人、延べ154社のご協力をいただいて実施しております。職种的には電気、機械加工旋盤、建築製図などとなっております。</p>
<p>後藤委員</p>	<p>少し余談になりますけれども、私は前職が銀行員でして、製造業に対しての貸し出しというのをやっておりました。各企業の工場を回らせていただいて、どういったものを作っていくのか、どういう役割分担されているのかいろいろチェックしてまいりました。その際に感じましたのは、熟練技術者、いかに大事ということが、本当に身にしみて感じております。</p> <p>ですから、ITを進めていくと同時に、熟練技術者を、きちんと育て、また確保していかなければならないだろうなというふうに思っております。</p> <p>そういう意味で、クラフトマン21などを上手く活用していくというのは非常に重要じゃないかなと、個人の意見として思っております。</p> <p>後藤委員、何か他にございますでしょうか。</p>
<p>田邊会長</p>	<p>はい、ぜひ私どもを有効に活用していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>渋谷総括</p>	<p>はい。その他は何かございますでしょうか。よろしいですか。事務局の方からお願いします。</p>
<p>田邊会長</p>	<p>事務局から1点、申し上げます。本計画の今後の予定についてでございます。</p> <p>今後の予定につきましては、この後、田邊会長のもとで、計画案の修正を行いまして、本日答申を行うこととしております。</p> <p>その後でございますが、来週21日に、宮城県議会経済商工観光委員会に計画案の報告をさせていただきます。そのあと、本計画を正式に決定することとしております。</p> <p>策定しました計画書につきましては、追って各委員の皆様へ送付させていただく予定でございます。</p> <p>以上、今後の予定でございました。どうぞよろしく願いいたします。</p>
<p>佐藤総括</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは、これで議事を終了させていただきます。</p> <p>円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。</p> <p>進行を事務局へお返しします。</p>
<p>田邊会長</p>	<p>田邊会長、ありがとうございました。</p> <p>本日の会議の議事につきましては、県のホームページで後日公開したいと考えてございます。</p> <p>議事録は事務局で作成いたしまして、各委員の皆様方に確認し、了承いただきましたものを公開したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、審議会の開催でございますが、今年度内にもう一度、審議会を開催することを予定してございます。</p> <p>日程等につきましては、追って事務局からご連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それではこれも持ちまして、宮城県職業能力開発審議会を閉会いたします。</p>

